

令和2年度広島県教育奨励賞 受賞者からのメッセージ

○ 個人

※年齢は令和3年2月2日現在

※右列は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	氏名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	受賞者からのメッセージ
学校教育	いし かわ まき 紀 石 川 真 紀 (52歳)	東広島市立龍王小学校 教諭 (東広島市)	<p>この度は、このような身に余る賞を頂き、大変光栄に思っております。この賞は、これまで御指導をいただいた先生方を始め、本校教職員、児童、関係機関の皆様と共に頂いたものであると思っております。</p> <p>今後も、ICTをツールとして使いこなし主体的に自分の考えを伝え、学びを深める児童の育成に向けて、一層精進し、本県のICT教育の推進に尽力してまいります。</p>
	おく まり こ 奥 真理子 (45歳)	庄原市立庄原小学校 教諭 (庄原市)	<p>この度は、広島県教育奨励賞を頂き、ありがとうございます。「小学校外国語パワーアップ事業」指定校として、中学校と連携し学校全体で進めてきた取組が評価されたものだと思っています。これまで、英語で自分の気持ちを伝え合う喜びを実感できる授業を目指し、日々授業改善を重ねてきました。共に研究に励んだ先生方や共に学んだ子供たちに感謝し、今後も「学ぶことが楽しい!」と感じられる授業を通して児童の力を伸ばせるよう、挑戦していきます。</p>
	かげ な お こ 陰 菜穂子 (46歳)	呉市立和庄小学校 教諭 (呉市)	<p>この度は素晴らしい賞をいただき、身の引き締まる思いです。これまで一緒に研究をしてきた仲間達、ご指導くださった方々、同僚の先生方、そして一緒に「学級」を創り上げてきた子ども達に感謝の気持ちを伝えたいです。</p> <p>これからも多くの方々とのつながりを大切にしながら、特別活動の研究を推進し、「なりたい自分」に近付こうとする児童、互いのよさを認め合い、社会に参画していく児童の育成に努めて参りたいと思います。</p>
	シュトロウ あや こ シュトロウ 絢子 (34歳)	廿日市市立佐方小学校 教諭 (廿日市市)	<p>この度はこのような身に余る賞を頂き、感謝致します。この賞は、ご指導くださった多くの先生方をはじめ、これまで外国語教育の研修を一緒に深め、支え合い、高め合ってきた佐方小学校の先生方、児童と一緒に受賞した大切な賞です。皆のこれまでの努力が評価されたことがとても嬉しいです。今後も先生方、児童と楽しみながら外国語でのコミュニケーションの楽しさを実感できる授業づくりを目指して参ります。</p>
	すな やま かず み 砂 山 和 美 (50歳)	海田町立海田西小学校 教諭 (海田町)	<p>どんな支援があったら、この子のとんがった目が、穏やかになるのか。何の力を付けたら、あの子の不安そうな顔が、笑顔になるのか。試行錯誤の毎日ですが、多くの素晴らしい出会いに助けられ、学ばせていただくことばかりです。今後は、自身の専門性を高め、子ども達の力を伸ばすとともに、日々奮闘されている先生方の手助けを、微力ながらできればと考えています。</p>
	たけ ぞえ ひき こ 武 添 寿 子 (46歳)	安芸高田市立吉田小学校 教諭 (安芸高田市)	<p>この度は身に余る賞をいただき、深く感謝するとともに身の引き締まる思いがしています。</p> <p>吉田小学校の取組の中で、子どもたちの成長を感じ、そのことを他の先生方と共有することができたことが、何よりの喜びです。教育委員会をはじめ、これまで御指導くださった皆様、共に研修を深めてきた本校職員、共に学んだ子どもたちにも感謝したいと思います。</p> <p>これからも、全ての子どもたちの可能性を伸ばすため、学校が組織として動くことを大切にして、尽力してまいります。</p>

令和2年度広島県教育奨励賞 受賞者からのメッセージ

○ 個人

※年齢は令和3年2月2日現在

※右列は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	氏名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	受賞者からのメッセージ
学校教育	ありまつこうし 有松浩司 (41歳)	竹原市立吉名学園 教諭 (竹原市)	この度は、このような素晴らしい賞をいただき、ありがとうございます。今の自分があるのは、いつも近くで支えてくださった先生方、地域・保護者の皆様、そして何より、毎日元気いっぱい自分の授業に向き合ってくれたたくさんの子どもたちのおかげです。これからも感謝の気持ちを忘れず、子どもたちが日々主体的に学習に取り組んでいけるよう、国語科教育やICT活用教育を中心とした研究に一層励んでいきたいと思ひます。
	あかせんあいこ 赤瀬彩子 (38歳)	尾道市立吉和中学校 教諭 (尾道市)	この度は、身に余る賞をいただき、大変恐縮しております。貴重な研修の機会を与えてくださり、御指導いただきました先生方に深く感謝申し上げます。生徒指導とは何か、共に考え共に取り組んできた諸先生方、地域・保護者の皆様といただいた賞であると思っております。今後も、生徒にとって必要なことを、見通しをもって考え、生徒に寄り添い、真摯に向き合っていく所存です。ありがとうございました。
	ひらたけんしろう 平田剣士郎 (32歳)	三次市立三次中学校 教諭 (三次市)	この度は身に余る賞を頂き、有難うございます。この賞はこれまで御指導頂いた諸先生方を始め、児童生徒、地域の皆様と共に頂いたものと感じております。「道德教育改善・充実」総合対策事業の指定を頂き取り組んだ二年間及び、その後の実践を生かした取組が少しでも生徒の豊かな道德性を育むことにつながっていれば幸いです。 今後も生徒と共に考え、学びながら成長していきたいと思ひます。
	つじなのみ 辻尚実 (43歳)	県立三次高等学校 教諭 (三次市)	これまでの勤務校の生徒の皆さんや先生方、大学院派遣研修やエキスパート研修でお世話になった方々、皆様の御指導・御支援に深く感謝しております。素晴らしい出会いが、いつも私の授業を一步前に進めてくれました。国語教師として、理論と実践の両輪、特に実践を理論化する意義を感じながら研究に取り組んでいます。今後も、生涯にわたって「読んで考える」生徒を育てられるように、真摯に国語教育を探究していきたいと思ひます。
	にのみやつづまる 荷宮嗣麿 (48歳)	県立呉三津田高等学校 教諭 (呉市)	10年前に広島県で採用して頂き、情報教育や放送部活動を通して、五日市高校や呉三津田高校、広島県内の多くの学校で、何事にもひたむきに取り組む生徒に出会いました。そして共に育つことができる幸せな時間を頂きました。これはご指導頂いた多くの先生のおかげです。これからも「心事高尚ならざれば働きもまた高尚なるを得ざるなり」という言葉を心に、先生、生徒と一緒に頑張っていきたいと思ひます。ありがとうございました。
	みやもとりのこ 宮本紀子 (47歳)	県立世羅高等学校 教諭 (世羅町)	この度は、このような素晴らしい賞を頂き大変感謝するとともに、身の引き締まる思ひです。 「課題研究」では、生徒が地域課題を見つけ、その解決に向け、研究に取り組んでいます。生徒の豊かな発想と地域農業に貢献したいという熱い思ひにいつも感動するとともに生徒から教えられる事もたくさんありました。今後も新しい取組へ生徒が挑戦していけるよう尽力していきたいと思ひます。

令和2年度広島県教育奨励賞 受賞者からのメッセージ

○ 個人

※年齢は令和3年2月2日現在

※右列は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	氏名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	受賞者からのメッセージ
学校教育	ひさやま ゆみこ 久山由弥子 (48歳)	県立広島北特別支援学校 教諭 (広島市)	<p>私は、生徒の社会的・職業的自立に向け、進路指導の充実とともに、働く意欲を育てる職業教育の在り方について、研究・指導に努めてきました。本人・保護者の希望に沿い、より良い生き方を一緒に考える過程に携われることに、喜びと充実感の毎日です。</p> <p>今後とも、生徒の豊かな生活に向けて、尽力していきたいと思えます。引き続き、御指導の程、よろしくお願いたします。</p>
体育・スポーツ	あらい き たかのり 荒木貴則 (47歳)	広島県ソフトボール協会 技術委員長 (呉市)	<p>この度は、栄誉ある賞を頂き誠にありがとうございます。御理解と御支援を頂いた会社、強化に携わった皆様に深く感謝しております。学校体育授業や部活動を通じ、先生方や児童、生徒並びに保護者の皆様と接する機会も多く、有意義で学びの多い経験をさせて頂きました。今後もソフトボールを通じ、学校教育や地域社会に貢献し、ソフトボール競技の普及と、選手の育成強化に精進してまいります。</p>

令和2年度広島県教育奨励賞 受賞者からのメッセージ

○ 団体

※右列は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、「今後の抱負」など）

区分	団体名 (所在地)	受賞者からのメッセージ
学校教育	庄原市立口和中学校 校長 中 重 秋 登 (庄原市)	この度は栄えある賞を頂き、誠に光栄に存じます。これまで御指導、御協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。この賞は取組を進めてきた本校教職員、生徒、保護者、地域の皆様と共に頂いたものであると思っております。今後も生徒の豊かな心の育成に向け、「特別の教科道徳」の授業や読書活動などの充実を図るとともに、学校と地域が一体となって教育活動を推進する「地域とともにある学校」づくりに尽力してまいります。
社会教育	Pクラブ・せら 代表 丸山 英治 (世羅町)	この度の新型コロナ感染拡大は社会全体に多くの影響を与え、私たちの日々の生活も一転する中、子育てに励んでおられる保護者の皆さんが多くの問題に立ち向かっていらっしゃると思います。そういった方々に少しでも寄り添えることができないか私達も日々模索していますが、なかなか対応策が見つかりません。これまでの経験をこれからの活動にどう活かせるのか仲間と考えながら、多くの保護者の方々と一緒に子育てについて学んでいきたいと思っています。